

花びと通信

No.38 2022年9月1日
花びと会ちば

【令和4年度 通常総会&ミニ講演会報告】

開催日:2022年4月20日(水)13:30~16:30
会場:千葉生涯学習センター 小ホール

令和4年度花びと会ちばの総会について報告いたします。
事務局である千葉市緑政課緑と花の推進室における定期人事異動に伴う事務局員の紹介、会長の挨拶の後、樫浦副会長の進行により第1号議案の事業報告から始まり、収支決算、監査報告、事業計画、最終の第5号議案収支予算について審議の結果すべて原案どおりに承認・可決となり総会は閉会しました。

話題は前後しますが、この総会に先立ち、恒例となっている講演がありました。

今回は、私の友人であり、我が家の花のお手入れの師匠でもある氏原一憲さんを講師に推薦させていただき「バラの育て方」と題してご講演いただきました。氏原さんは、プロの庭師などではありませんが、今風の言葉で言うと「ハンパない」ガーデニングの実践者で、ご自宅にバラを中心とした素晴らしいお庭を作られ、毎年5月にはそのお庭をオープンガーデンとして、一般公開もしています。数々の専門誌のガーデニングコンクールで入賞の実績もあり、今年は花びと会ちばの研修の一環として、そのオープンガーデンにもお邪魔いたしました。(詳しくはそちらの記事をご覧ください)



今回の講演では、そのメインであるバラの手入れ方法をご自身の記録を交えたスライドを上映しながら、すでにバラを育てている方も、これからガーデニングを始めたい方にも解りやすく解説してくださいました。

品種による特徴、気をつけるポイントなど日々の経験からのお話しに思わず「なるほど！」でした。私自身としては、今までいい加減に使っていた剪定鋏の正しい使い方(刃を当てる向き)があることに改めて目からウロコでした。とかく暗いニュースが多い毎日ですが、心から花を愛する方のお話に癒やされ、明るい気持ちになりました。

(日野達弥)

大賀ハス開花70周年記念フォーラム

1951年(昭26年)3月30日、検見川の東京大学厚生農場から、古ハスの実3粒が発掘され、大賀一郎博士により発芽処理され翌年7月18日に開花しました。1993年(平成5年)に千葉市の花として選定される。今年、開花70周年になるのを記念しフォーラムを開催しました。催しの概略は3ページをご覧ください。

【大賀ハスマつり 3年ぶりに開催！】

開催:2022年 6月18日(土)~26日(日)

会場:千葉公園蓮華亭・綿打池周辺

コロナ禍が続く中、3年ぶりに「大賀ハスマつり」(千葉市・花びと会ちば共催)を開催できましたことを関係団体のみなさまに深く感謝致します。コロナ対応での制約があり、前回よりも規模は縮小しましたが千葉公園のハス池には初日から多くの方が訪れ、9日間の会期を無事に終えることができました。

今年は「大賀ハス開花 70周年記念事業」の一環として蓮華亭がバージョンアップしました。天井中央からは美しい大賀ハスを写した、バナーがウェルカム・フラッグのように設置され、上部壁面は大迫力の大賀ハスの写真がぐるりと展示され、一年中大賀ハスを楽しめるようになりました。その蓮華亭でオープニングセレモニーが行われ、神谷千葉市長をはじめ、区長、花のあふれるまちづくり推進議員連盟(花議連)の市議のみなさまほか多方面の方々に出席いただきました。

「千葉市の花である大賀ハスは国内外 200 ヶ所に分根され、多くの人の努力で開花 70周年へとつないできました」との神谷市長の挨拶の後、象鼻杯の実演が行われました。象鼻杯は例年、大人気の催しですが、コロナ禍で今年は限定的な実演方式となりました。制限のあるなかで、和楽器などの演奏や講談、各種講習、物販などは行われました。

大賀ハス開花 70周年記念の企画として、ちば産学官連携プラットフォームによる「ちはなちゃんのモザイク・アート」が出店しました。お馴染みの「ちはなちゃん塗り絵」を来園者に塗ってもらった後にそれを大学生がスマホで撮影。そのデータを集約して一枚の「フォトモザイクアート」に仕上げるといったもの。作品の完成が楽しみです。

初日は蕾も多かった大賀ハスでしたが、次々に開花。ネット情報などをみて、記録的な暑さの中、遠方からも多くの方が訪れてくれました。本当にありがとうございました。



《神谷市長のあいさつ》



青空の下 和太鼓が響き渡り
お祭りを盛り上げてくれました。



コロナ感染対策として、来賓者の方に象鼻杯の実演をしていただきました。

【大賀ハス開花70周年記念フォーラム】

開催日:6月25日(土)13:00~16:30

会場:千葉市生涯学習センター

第一部の記念講演は元NHK理事待遇アナウンサーの加賀美幸子さんが「万葉の花」をテーマに講演。万葉集にはハスを詠んだ和歌が4首あるそうです。第二部の基調講演では「古代蓮の中の大賀ハス」と題して、元京都府立植物園園長の金子明雄さんが大賀ハスを学術的に解説されました。

続くパネルディスカッションには齊藤久芳(花びと会ちば)をコーディネーターとしてパネリストには、阪本尚生(和歌山大賀ハス保存会会長)／佐藤良一(府中市郷土の森公園管理事務所長)／南定雄(蓮文化研究会顧問)／神谷俊一(千葉市長)の4名が登壇。「オオガハスを活かしたまちづくり」をテーマにそれぞれの取り組みやプランを発表しました。ライブ配信、手話通訳も行われ、ちはなちゃんの登場や大賀ハスのつるし雛もフォーラムに華を添えました。

千葉市の花である大賀ハスを通じて地域の人と人が結びつき、都市との交流に発展したことを踏まえ、大賀博士の志を引き継ぎ、開花80年に向けて、「The大賀ハス」の魅力を千葉市民の誇りとして、守り伝えていくというメッセージが発信されました。(中尾良枝)



このフォーラムは、計画・準備段階から当日の運営まで花びと会ちばを含む実行委員会が中心となって実施、当日の様子は千葉市のYouTubeチャンネルで同時発信され、またアーカイブもされているので今でも視聴することができます。

開催当日に向けて、6月6日から千葉市生涯学習センターアトリウムでの大賀ハスに関する展示、その多くは会員の齊藤さんに準備いただきました。フォーラムのチラシは森さんによるデザイン、2万枚印刷し公共施設はもとより市内小中学校にも配付しました。

フォーラムの総合司会は、高橋副会長が担当、オープニングは、イダセイコさんによる「悠久の花」歌唱、仙波会長及び神谷市長による挨拶の後、来賓紹介を経て第1部が始まりました。記念講演は、元NHK理事待遇アナウンサーでもある加賀美幸子氏による『万葉の花』、万葉集におさめられている花に纏わる多くの短歌を解説いただきました。



日野副会長によるちはなちゃん紹介の後、第2部がスタート。元京都府立植物園園長の金子明雄氏による基調講演『古代蓮の中の大賀ハス』で、大賀ハスの位置づけについて説明をいただいた後、パネルディスカッションが始まりました。『オオガハスを活かしたまちづくり』と題して、会員の齊藤さん作成のシナリオに基づいて進行、コーディネーターも本人が務めました。

フォーラム来場者には、ちはなちゃんトートバッグ等を配付、その事前作業も全て実行委員会と事務局で準備しました。フォーラム全体を通して多少の混乱があったものの、実行委員が一丸となって実施した「大賀ハス開花70周年記念フォーラム」になったと思います。

(榎浦敏彰)



記念フォーラム動画 QR

【バス研修】

◆日時:2022年5月14日(土) ◆研修先:大網白里市&茂原市

5月14日(土)、17名の参加。バラがメインの大網白里市の貝森邸と茂原市の氏原邸見学。バスに乗り込む時は激しい雨。車内では、ユーモアを交えた自己紹介でうちとけた。雨天のため、午前中に菅原ガラス工場見学と工芸品鑑賞をし、九十九里ハーブガーデンで昼食。腹ごしらえも済み、午後は待望のガーデンへ。午後は、予報通り晴れ間も見え、足どりも軽く貝森邸へ。御夫妻がやさしく我々を迎えてくれた。個人宅とは思えないほどに、バラが400種500株に驚き、圧倒されました。一株一株にネーミングされ、甘い香りが漂っていた。奥様の趣味からはじまり、今はお二人で管理されているようだ。5月中のオープンガーデン日には、県内から毎年楽しみに来られる方が多いようだ。



次の訪問先の氏原邸は、手入れの行き届いた芝生と、多数の花木とバラがすてきなハーモニーをかもし出していました。数々のコンテスト受賞も納得です。五月のバラは最高で魅力は尽きません。訪れる人すべてを優しく出迎えてくれるオアシスのオープンガーデン。バラで英気を養ったので、六月の大賀ハスマつりで恩返ししたいと決めました。

(一色康博)

【市民会館花壇】

令和4年度も委託を受け、5月30日に市民会館花壇に植栽をしました。前日に、整地を行い、当日は会員の市原園芸さんより「ガザニア」を仕入れ、7人の会員で植え込み作業を行いました。例年より早い梅雨明けと猛暑日が続いたため、多数の株が枯れてしまいました。補植するには、時期的にも無理と思いい、ハツユキカズラを植え込みました。昨年、植えたコニファ系のゴールデンモップが育ち爽やかなグリーンの花壇になっております。次回は、11月にパンジーを植え込む予定です。ご協力をお願いいたします。

(畔田幾子)



【今後の予定】

内 容	月 日	場 所
会員研修(案)	10月末~11月上旬	神代植物公園 or 横浜三溪園
フラワーフェスティバル	11月15日(火)~20日(日)	千葉公園 芝生広場他
ちはなちゃんの誕生会	11月20日(日)10:00~	千葉公園蓮華亭内
市民公開講座	2月18日(土)13:30	中央コミュニティセンター
ミニ蓮栽培講習	3月4日(土)10:00	千葉公園蓮華亭内



個人会員&賛助会員 募集!

花や緑に関心のある方一緒に活動しませんか。
研修会、講座、講演会等を開催しています。

- ◆個人会員 年会費：1,000円
- ◆賛助会員 個人：年会費：3,000円
団体・企業年会費：5,000円

花びと会ちば事務局

「千葉市都市局公園緑地部緑政課」
Tel043-245-5753 Fax043-245-5885
midoritohana@city.chiba.lg.jp